

# 報道資料

令和7年10月6日  
京丹後市役所

## 京丹後市内における令和7年度自衛隊統合演習及び米軍との共同基地警備訓練について (お知らせ)

京丹後市内における標記の訓練の実施について、近畿中部防衛局から別紙のとおり情報提供等がありましたのでお知らせします。

また、地元区（宇川連合区、袖志区、尾和区、中浜区）に対しては、近畿中部防衛局により説明が行われています。

なお、本市ではこの情報提供を受け、口頭により以下の点について、近畿中部防衛局に対して強く要請しています。

### 記

- ・住民の安全対策をしっかりと行うこと。
- ・通学時間帯の車両の移動は避けること。
- ・早朝・夜間の訓練を行う場合、騒音には十分配慮すること。
- ・住民に不安を与えないようにすること。

### 【本件に関する問い合わせ先】

近畿中部防衛局企画部地方調整課環境対策室

電話：06-6945-4956

#### ●発信元

京丹後市総務部総務防災課  
基地対策室

TEL：0772-69-0012



<http://www.mod.go.jp/js/>

(お知らせ)

令和 7 年 1 0 月 3 日  
統 合 幕 僚 監 部

## 令和 7 年度自衛隊統合演習（実動演習）について

自衛隊は、下記のとおり令和 7 年度自衛隊統合演習（実動演習）を実施します。

本演習は、陸・海・空自衛隊が統合により演習を行うことで、自衛隊の統合運用能力を維持・向上させるものです。訓練の一部には、米軍及び豪軍が参加し、日米豪の相互運用性の向上も図ります。

### 記

#### 1 演習の目的

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図る。

#### 2 実施時期

令和 7 年 1 0 月 2 0 日（月）から同月 3 1 日（金）までの間

#### 3 実施場所

- (1) 自衛隊施設（千歳飛行場、三沢飛行場、八戸飛行場、百里飛行場、入間飛行場、小松飛行場、美保飛行場、築城飛行場、芦屋飛行場、新田原飛行場、鹿屋飛行場、厚木航空基地、浜松基地、日出生台演習場、大湊地区、横須賀地区、呉地区、佐世保地区、大村飛行場、小牧基地等）、在日米軍施設及び区域（三沢飛行場、岩国飛行場、嘉手納飛行場、三沢対地射爆撃場、伊江島補助飛行場、米海軍横須賀基地、佐世保海軍基地、川上弾薬庫等）
- (2) 民間空港及び港湾
- (3) 北海道留萌市及び苫小牧市、宮城県仙台市、新潟県佐渡市、愛知県蒲郡市、京都府舞鶴市、宮津市、京丹後市及び与謝郡伊根町、和歌山県西牟婁郡白浜町、高知県須崎市、福岡県京都郡みやこ町、佐賀県唐津市、長崎県佐世保市、大村市、対馬市、壱岐市、五島市、南島原市、東彼杵郡川棚町及び南松浦郡新上五島町、大分県中津市及び杵築市、鹿児島県奄美市、熊毛郡中種子町、熊毛郡南種子町、大島郡大和村、大島郡宇検村、大島郡瀬戸内町、大島郡和泊町及び大島郡知名町並びに沖縄県石垣市、名護市、国頭郡国頭村、島尻郡渡名喜村、八重山郡竹富町及び八重山郡与那国町
- (4) 我が国周辺海空域

#### 4 統裁官

統合作戦司令官

#### 5 主要訓練項目

- (1) 統合任務部隊及び主要部隊司令部における指揮所活動
- (2) 陸上作戦
- (3) 海上作戦
- (4) 航空作戦
- (5) 水陸両用作戦
- (6) 統合後方補給・衛生
- (7) 空挺作戦
- (8) 宇宙、サイバー及び電磁波領域と従来の領域との連携

## 6 参加部隊等

- (1) 自衛隊
  - ア 幕僚監部等  
統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部及び情報本部
  - イ 陸上自衛隊  
陸上総隊、各方面隊等
  - ウ 海上自衛隊  
自衛艦隊、各地方隊等
  - エ 航空自衛隊  
航空総隊、航空支援集団等
  - オ 共同の部隊  
統合作戦司令部、自衛隊情報保全隊、自衛隊サイバー防衛隊、自衛隊海上輸送群等
- (2) 米豪軍
  - ア 米 軍  
太平洋陸軍、太平洋艦隊、太平洋空軍、太平洋海兵隊及び在日米軍
  - イ 豪 軍  
国防軍統合作戦本部等

## 7 演習参加規模

- (1) 自衛隊  
人員約 5 2, 3 0 0 名、車両約 4, 1 8 0 両、艦艇約 6 0 隻、航空機約 3 1 0 機
- (2) 米軍  
人員約 5, 9 0 0 名
- (3) 豪軍  
人員約 2 3 0 名

## 8 その他

自衛隊統合演習は昭和 5 4 年度に開始され、おおむね毎年実施され、平成 1 8 年度の統合運用体制移行後では、本年度で 1 8 回目（実動演習 1 0 回、指揮所演習 8 回）となります。実動演習と指揮所演習を隔年で実施しており、本年度は実動演習を実施します。

# 令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

## 【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

## 【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

## 【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

## 【演習の実施期間】

令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

## 【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

# 令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

## ➤ 空挺作戦



## ➤ 水陸両用作戦



## ➤ 統合防空ミサイル防衛訓練



## ➤ 統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

## その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備

- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信





# 京都府内で実施を検討している訓練内容

## ①陸上作戦(協同基地等警備訓練)

陸上自衛隊の部隊が航空自衛隊経ヶ岬分屯基地に展開し、各部隊による基地等警備訓練を実施します。なお、実弾は使用しません(空包は使用いたします。)

【期 間】令和7年10月20日(月)～31日(金) ※夜間訓練を含みます。

【参加部隊】陸上自衛隊:第7普通科連隊(福知山) 約170名(車両 約50両)  
第3飛行隊(八尾) 約 4名(UH-1ヘリコプター1機)※夜間は飛行しません。  
第3偵察戦闘大隊(今津) 約 50名(車両 約20両)※16MCVを含みます。(予定)  
第3高射特科大隊(姫路) 約 20名(車両 約10両)※短SAMを含みます。  
第3施設大隊(大久保) 約 30名(車両 約15両)※大型車両を含みます。  
第3通信大隊(千僧) 約 5名(車両 約2両)  
航空自衛隊:第35警戒隊 約 50名

### 訓練予定場所



### 訓練イメージ



# 京都府内で実施を検討している訓練内容

## ①陸上作戦(通信訓練及び偵察訓練)

陸上自衛隊の部隊が日本海沿岸部に展開し、各部隊による通信訓練及び偵察訓練を実施します。なお、実弾及び空包は使用しません。

【期 間】令和7年10月20日(月)～31日(金) ※夜間訓練を含みます。

【参加部隊】陸上自衛隊:第7普通科連隊(福知山) 約 70名(車両 約10両)

第3偵察戦闘大隊(今津) 約 80名(車両 約30両)※16MCVを含みます。(予定)

第3飛行隊(八尾) 約 4名(UH-1ヘリコプター 1機)※夜間は飛行しません。

第3通信大隊(千僧) 約 30名(車両 約10両)

### 訓練予定場所

#### 【凡例】

— : 訓練場所(自衛隊のみ)

— : ヘリコプター飛行経路



### 訓練イメージ



京丹後市内における米軍との共同基地警備訓練について

○ 訓練の概要

(1) 内 容

米陸軍経ヶ岬通信所において、陸自の普通科部隊及び米陸軍の所在部隊が共同基地警備訓練を実施。

(2) 期 間

令和 7 年 1 0 月 2 7 日（月）～ 3 1 日（金）

（訓練準備は 1 0 月中旬、撤収は 1 1 月第一週まで予定）

(3) 場 所

米陸軍経ヶ岬通信所

(4) 訓練参加部隊

ア 陸上自衛隊 約 1 5 0 名  
第 7 普通科連隊（福知山）

イ 米陸軍 約 2 0 名  
在日米陸軍第 1 4 ミサイル防衛中隊（経ヶ岬）

(5) 車両 約 5 0 台

軽装甲機動車、高機動車、大型・中型・小型トラック

○ その他

- ・車両が多数となる展開・撤収時の車両移動は、通勤、通学時間帯を避けます
- ・訓練期間中、武器を携行し、空包及び化学火工品を使用。※夜間は使用しません
- ・訓練期間中、訓練視察及び緊急患者搬送時に、ヘリコプターが飛行する可能性があります、現状として予定しておりません。 ※夜間は飛行しません
- ・夜間訓練を 1 0 / 2 7 日（月）～ 3 0 日（木）に実施予定  
1 9 0 0 ～ 0 7 0 0 は空包等使用しません
- ・訓練場所の敷地内でドローンを使用